

## 事業報告

### I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として以下の事業を実施した。

#### 1 事業の実施状況

##### 1. 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

###### (1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

###### (2) 事業の概要

###### イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

###### ロ) 研究助成の種目と助成額

###### A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2件	1件	200万円	400万円
----	----	-------	-------

###### B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

3件	1件	70万円	210万円
----	----	------	-------

奨励研究 37才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件	1件	37.5万円	150万円
----	----	--------	-------

###### ハ) 募集方法

岡山県下の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース99号及び財団ホームページに掲載）4月25日に締切った。

二) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
		件	件	%	
内山勇三科学技術賞	特別研究	6	2	33	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	23	3	13	
	奨励研究	12	4	33	
計		41	9	22	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 准教授	木之下 博	革新的な酸化グラフェン分散潤滑油 による歯車の超長寿命化を目指した 研究	200 万円
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 准教授	内田 哲也	高分子の結晶化を利用した新規ナノ ファイバーの作製と高性能高分子材 料への応用	200
岡山工学 振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 准教授	高岩 昌弘	装着者の体重を利用した空気式歩行 支援シューズの開発	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 准教授	林 秀考	非懸濁めっき法を用いた固体酸化物 型燃料電池アノード材料の作製	70
	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 (環境理工学部) 准教授	島内 寿徳	水晶振動子を活用するアルツハイマ ー病治療技術への展開	70
岡山工学 振興会 科学技術賞 奨励研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助 教	佐野 吉彦	中空糸膜を用いた微細藻による二酸 化炭素回収型のバイオ燃料生成技術 を構築するための基礎研究	37.5
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助 教	石川 篤	メタマテリアルを用いた波長選択性 光吸収材料の開発	37.5
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学部) 助 教	村井 征史	遷移金属触媒を用いるアザブレン の効率的官能基化とその分子触媒と しての利用	37.5
	岡山理科大学 (工学部) 研究員	土肥 裕希	廃グリセロールを原料とした D-乳 酸の生物学的生産—高純度な D-乳 酸の生産に向けた新規アプローチ—	37.5

## 2. 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業2（国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県下の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

### (3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会8名に対し、70万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	高村 浩由	第14回ケミカルサイエンスの発展に関する国際シンポジウム	中国 上海
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	黒星 学	米国電気化学会第225大会	アメリカ オーランド
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	小西 敏功	第26回医用セラミックス国際学会の討論会および総会（バイオセラミックス26）	スペイン バルセロナ
岡山県立大学 情報工学部	助教	小武内清貴	第9回アジア・オーストラリア複合材料会議	中国 蘇州
NPO 法人日本スペース ガード協会スペース ガード研究センター	助教	浦川聖太郎	小惑星・彗星・流星会議2014	フィンランド ヘルシンキ
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	IMADUDDIN HELMI BIN WAN NORDIN	第15回レーザ精密微細加工国際シンポジウム	リトアニア共和国 ヴィリニユス
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	武之煒	複合医工学国際会議	台湾 台北
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	学生	林 将也	第4回補酵素国際会議	イタリア パルマ

## 3. 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業3（岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県下で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

(3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 12 件について、57.5 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
International Symposium on Mechanobiology 2014 (ISMB2014)	International Symposium on Mechanobiology	岡山大学 高橋 賢
第 25 回日本微量元素学会学術集会	日本微量元素研究会	岡山大学 榎本秀一
第 49 回天然物化学談話会	第 49 回天然物化学談話会実行委員会	岡山大学 高村浩由
電気加工懇話会 第 74 回例会	電気加工懇話会	岡山大学 岡田 晃
第 17 回画像の認識・理解シンポジウム	電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会	岡山大学 尺長 健
第 30 回若手化学者のための化学道場	有機合成化学協会	岡山大学 菅 誠治
第 8 回バイオ関連化学シンポジウム	日本化学会 生体機能関連化学部会、バイオテクノロジー部会、生命化学研究会	岡山大学 大槻高史
日本科学者会議第 27 回中国地区シンポジウム	日本科学者会議中国地区会議	岡山大学 稲垣賢二
第 35 回バイオメカニズム学術講演会	バイオメカニズム学会	岡山大学 岡 久雄
第 65 回塑性加工連合講演会	一般社団法人 日本塑性加工学会	岡山大学 多田直哉
精密工学会中国四国支部（岡山地区）講習会	(公社)精密工学会中国四国支部	岡山大学 岡本康寛
日本生産管理学会中国・四国支部 支部研究会	日本生産管理学会中国・四国支部	岡山大学 柳川佳也

4. 産学官連携事業の助成

公益目的事業 4（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

## (2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

## (3) 産学官連携研究会等の助成実績 2件 11万円

岡山新材料技術融合フォーラム 9万円

C5ケミカル新技術研究会 2万円

## 5. 学術交流推進助成事業

公益目的事業5（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は次により行った。

## (1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

## (2) 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	万円 30
	岡山大学 特任教授	高田 潤	機能性材料の開発	50
	川崎医科大学	大倉 宏之	不安定プラークの病態解明と虚血性疾患の予後改善に関する研究	50
	川崎医科大学 教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による内臓肥満抑制の分子基盤解明と新規治療法の探索	100
	川崎医科大学 教授	原田 保	CDDP 内耳障害における病態の解明	100
	中国職業能力 開発大学校 教授	平島 隆洋	マイクロ波大電力計測システムの構築	50
	岡山大学 特命教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	50
	川崎医科大学	大倉 宏之	不安定プラークの病態解明と虚血性疾患の予後改善に関する研究	150
	川崎医科大学	大倉 宏之	不安定プラークの病態解明と虚血性疾患の予後改善に関する研究	30
	川崎医科大学	大倉 宏之	不安定プラークの病態解明と虚血性疾患の予後改善に関する研究	50
	川崎医科大学	大倉 宏之	不安定プラークの病態解明と虚血性疾患の予後改善に関する研究	100
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい治療法の開発	30
	計		12件	790

6. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は次により行った。

(1) 学術的研究成果及び学術情報の普及

学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、工学部紀要、並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。

ホームページ(URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>)に掲載

(2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布

学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県下の大学、研究機関及び企業に配布した。

7. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は次により行った。

(1) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

(2) C5ケミカル新技術研究会おもしろ体験でえーの開催

(3) 「ほっと交流会」の開催

8. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	DOWA エフテック(株)	万円 30	万円 30	
	戸田工業(株)	50	50	
	日本バイオセンサーズ(株)	50	50	
	(医)赤穂中央病院	100	100	
	(医)赤穂中央病院	100	100	
	(株)エム・イー・エル	50	50	
	(株)ジーシー研究所	50	50	
	アボットバスキュラージャパン(株)	150	150	
	セントジュード・メディカル(株)	30	30	
	西条愛寿会病院	50	50	
	塩野義製薬(株)	100	100	
	(医)創始 竹本病院	30	30	
	有限会社トラスティクルー	50	50	
	おかやまロボット研究会	5,4406	5,4406	
	合 計	845,4406	845,4406	

## 2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

## 3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	平成 23 年 3 月期	平成 23 年 10 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
経常収益合計	13,943	1,111	1,985	3,647	2,994
経常費用合計	5,092	2,120	1,872	4,217	3,654
当期正味財産増減額	6,478	△4,117	2,572	9,342	1,955
資産合計	33,420	29,266	31,876	41,246	43,229
負債合計	280	243	281	308	337
正味財産	33,140	29,023	31,595	40,938	42,892

## 4 公告方法の変更

岡山県の指導により、公告方法を定款を変更することにより、事務所玄関の掲示板に掲載する方法から、電子公告による方法に変更した。

## II 法人の課題

「該当なし」

## III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事 2 名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

## IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

## V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

## 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項  
「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
  - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
  - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業  
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
  - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業  
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
  - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
  - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成  
岡山県下の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項  
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項  
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項  
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項  
「該当なし」